

平成 22 年 11 月 2 日

前原大臣による歓迎宴スピーチ

1. 日中双方の新日中友好 21 世紀委員会の皆さんにおかれては、お忙しい中、ご出席いただいたことに改めてお礼申し上げます。
2. 自分（前原大臣）は、これまで 20 回以上訪中した。その全てが記憶に残る訪問であったが、中でも内モンゴル自治区の後旗へ植林のため訪問したことが特に印象深い。後旗は、瀋陽から車で 4 時間の道のりで、ここでは、毎年中国各地から多くのボランティアが砂漠で植林を行っている。自分もこれまでに 550 本植えた。統計によれば、その半分は根付いたものの、残る半分は枯れてしまったとのことである。
3. この話を思い出したのは、日中の先人たちがまさに日中関係において多くの樹木を植え、育ててきたことを改めて感じたからである。先ほど、唐座長もおっしゃったように、我々は、大同を求め、小異を残すことが重要である。隣国である以上、小異はどうしても存在するものだが、我々が先人たちの植えた木を大切に守っていけば、13 億の人々と必ずや良い隣人になれると思う。
4. 日中間に自ら樹木を植えて下さった日中双方の委員の皆さんに改めて感謝と敬意を表する。

（了）